

新型コロナウイルスと防災について市の考えを質す

6月12日、市議会の一般質問に村上かずしげ議員が登壇。新型コロナウイルス感染症の対策、昭以南・北園地域の雨水対策、巨大地震による津波防災の3点について質問しました。

新型コロナウイルスにかかわって、他の自治体が積極的に取り組んでいる全市民、すべての子育て世帯への一律の経済支援を市独自に行うよう求めましたが、釧路市は最後まで切実な市民要望に背を向けました。

**軽症の方の宿泊療養施設が
釧路に設置されることに**

◆新型コロナウイルス対策◆

問 無症状、軽症の感染者を保護する宿泊療養施設を市内につくるべきではないか。
答 道で釧路への設置のためにホテルに意向調査をしている。候補のホテルが決まったら、医療体制などについて地元と協議を行う。

問 妊婦全員のPCR検査を行うべきではないか。国の補正予算で、妊婦の検査について都道府県が実施することになった。
答 PCR検査のほかに、短時間で感染の有無がわかる抗原検査も取り入れられないか。先月下旬からキットが供給され、市内の一部医療機関で抗原検査を始めた。

問 現時点で一人10万円の給付金を申請していない人の中には、一人では申請できない人がいる。こうした人に申請支援をすべきでないか。
答 一人で申請が困難な人はおり、介護保険などの福祉サービスを利用していることが多い。通所施設や医療機関に支援を要請する。



問 全市民、すべての子育て世帯に市独自の経済支援策を行うべきではないか。
答 一人10万円の給付金や国の第二次補正にはひとり親への経済支援もある。市は感染防止、事業所支援など必要な施策に取り組んでいる。

**繰り返される北園の道路冠水
これでは解決できません**

◆昭以南・北園地域の雨水対策◆

問 3月に大雨で北園1丁目、昭以南6丁目で大規模な道路冠水が繰り返して発生している。湿原に降った雨水を住宅地の排水路で排水する仕組みでは処理しきれないのではないか。
答 管きよは十分な排水能力があり、構造的な問題は無い。

問 別の排水路を増強して、住宅地に入る前に雨水を川に放流したり、遊水地のような施設をつくれぬか。
答 民有地でありそうした施設の工事はできない。

**大楽毛南地域の津波避難困難
地域の解消へ、抜本的な
対策の検討が始まる**

◆千島海溝沖の巨大地震の津波対策◆

問 国による津波高が、港の防波堤で8・3mと発表された。市の避難施設などの見直しのスケジュールはどうなるか。
答 ケジュールはどうか。道の津波浸水予想図の発表は今年度内とされている。国のデータを提供してもらい、市も並行して作業を進めていく。

問 大楽毛南、音別海光団地などには、避難施設の整備が必要ではないか。
答 避難困難地域の解消のための抜本対策をすることができるようになる。
（※大楽毛の避難困難地域の解消は、避難施設の再配置も含めて検討していくと、委員会の質問には答弁しました。）

